

令和5年度

社会福祉法人南陽会  
事業報告書

社会福祉法人南陽会



# 令和5年度

## 事業報告書目次

### 【目次】

法人運営報告	P1～7
1 法人運営の概要	P1
2 理事会・評議員会・監事監査の開催	P2～3
3 研修関係	P3～4
4 補助金関係	P4
5 寄付	P4
6 登記事項・定款変更	P5
7 人事管理	P5
8 福利厚生	P6
9 財務管理	P6
10 主な施設・設備等の整備	P6
11 法人全体の共通の取り組み	P6～7
各事業所 事業報告	P8～31
1 障がい者支援施設あかまつ荘	P8～13
2 下郷作業所ホイップ	P14～17
3 すみれ荘	P18～21
4 只見地域活動支援センターじねえんと	P22～24
5 みなみあいづ障がい者相談センター	P25～27
6 こまどり荘	P28～31

# 《社会福祉法人南陽会 法人運営報告》

## 1、法人運営の概要

令和5年度は、5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症の対応となり生活習慣も平常時と同じように行えるようになりましたが、令和4年度の年度末に2か月間にも及ぶ新型コロナウイルス感染症の感染が入所施設で起き、利用者42名、職員2名の方が感染した経緯があり、5類に移行されたとは言え通常の生活に戻すことは中々出来ず、行事を実施するにしても大掛かりな事は行わないで施設内部での開催で実施しました。4年に及ぶ規制された生活を送らざるを得なかった利用者の事を考慮し、全面的な規制から制約を付けた形での外出や外泊も家族の協力も得て実施する様にしました。そのような事を最大限に考慮しながら利用者支援にあたり南陽会の運営理念及び運営方針に従い、且つ南陽会の年度事業計画に基づき、福祉情勢の変化に即応した主体的で安定した運営を目指し実施した。施設体系及び管理体制づくり、サービス事業の拡充、財務確保・経営事務の精度向上を行い、利用者へより充実したサービス提供を行うために努力を行った。10月からの消費税納入に伴うインボイス制度が始まり、南陽会の収益等において今までは消費税が発生する状況ではないと判断してきましたが、相談支援事業の中の県及び市町村委託事業においては社会福祉事業ではなく消費税対象事業との判断から、過去5年に遡って消費税を支払う事となり、消費税納入事業者としてインボイス制度の登録を行い、併せて平成30年度から令和4年度分までの消費税を延滞税及び加算税と共に納税した。理事会、評議員会では書面評決という選択肢もあった中で、委員の方々の体調等の状況を確認しながら三密を避ける体制を整え、南陽会の定款に基づいて会議を実施し法人運営に努めてきた。

利用者サービス事業については、障がい者支援施設あかまつ荘では「施設から地域へ」を前年同様に主眼に置いて、新型コロナウイルス感染症にも十分注意しながら体験利用等を実施し地域生活移行に取り組み、男性1名をグループホームに移行させることが出来ました。また、新型コロナウイルス感染症には十分注意を払いながらショートステイ利用の希望があった場合には、利用日前2週間の健康管理と行動チェックを実施していただき、特変が無ければ利用開始するという事で事業も実施しました。

事業運営に関しては、入所施設1、通所事業所1、グループホーム6、相談事業所1、市町村委託事業（只見町）通所事業1を昨年同様に行ったが、グループホームさくら荘に引き続き、すみれ荘においても利用定員を割っている状態が続いていた為休所とした。

各事業所の詳細で報告すると、障がい者支援施設あかまつ荘は男性1名が地域生活移行を実施した。グループホームに関しては、ひまわり荘から介護施設と医療機関へそれぞれ1名ずつ移行し2名減となったところにあかまつ荘より1名入所とすみれ荘から1名移動し満床とし、たんぼぼ荘利用者が身体的疾病の為1名退所となった事からすみれ荘より1名移動していただき満床とした。また、こまどり荘の利用者1名が介護施設へ移行した事で、すみれ荘から1名移動していただき満床とした。この事によりすみれ荘の利用者がいない事から当面の間休止とした。

下郷作業所ホイップに関しては、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業と二つの事業を行い、昨年同様に就労事業所の役割で活動してきた中で、支援学校卒業生の受入に関しても新型コロナウイルス感染症における対応を見極めつつ、万全の対策に基づいて実施しました。また1年を通して就労移行事業を行う該当者が居なかった事から就労移行事業は実施しなかった。

只見町地域活動支援センターについては、前年度同様の利用者状況ではあるが、只見町福祉センターの清掃業務の委託を受けるようになり利用者の活動にも幅が出てきた。令和6年度からは只見町社協の建物の清掃業務についても只見町社協より同様の問合せがあり実施できるように検討を重ねている。

経理部門では昨年同様、南会津町の宍戸会計事務所と契約を行い、月に一度の経理及び財務状況の把握に努め経理及び庶務の正確化と効率化を図った。

## 2、理事会・評議員会・監事監査の開催

理事会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回理事会	令和5年6月9日	理事4名 欠席者2名 監事2名	令和4年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について 社会福祉法人南陽会理事・監事候補者の選任について 社会福祉法人南陽会評議員候補者の選任について 社会福祉法人南陽会苦情解決第三者委員の選任について 令和3年度社会福祉法人南陽会第1回評議員会の開催について
第2回理事会	令和5年6月27日	理事6名 監事1名	社会福祉法人南陽会理事長の選任について 社会福祉法人南陽会副理事長の選任について
第3回理事会	令和5年9月14日	理事5名 欠席者1名 監事2名	財政運用基金の取崩しについて 令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第2号)について 障がい者支援施設あかまつ荘運営規程の一部改正について 障がい者支援施設あかまつ荘短期入所事業運営規程の一部改正について 障がい者支援施設あかまつ荘運営規程による職員の定数等に関する細則の一部改正について 社会福祉法人南陽会経理規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会給与規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会預り金等管理要領の一部改正について
第4回理事会	令和5年9月29日	理事4名 欠席者2名 監事1名 欠席者1名	施設整備基金の設置、管理及び処分に関する規程の制定について 施設整備基金の取崩しについて 令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第2号)について 社会福祉法人南陽会下郷作業所ホイップ運営規程の一部改正について 賃金支弁職員の雇用等に関する規程の一部改正について
第5回理事会	令和5年11月17日	理事6名 監事1名 欠席者1名	※協議事項 あかまつ荘改修工事に関する件について 只見地域活動支援センターじねえんとの作業活動について
第6回理事会	令和5年12月12日	理事6名 監事2名	あかまつ荘改修及び修繕工事の入札結果に基づく落札業者との契約の承認について
第7回理事会	令和6年1月16日	理事6名 監事2名	社会福祉法人南陽会借入金の承認について 社会福祉法人南陽会理事候補者の選任について
第8回理事会	令和6年3月27日	理事6名 監事2名	社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について 社会福祉法人南陽会給与規程細則の一部改正について 社会福祉法人南陽会給与規程の一部改正について 令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第3号)について 令和6年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について 令和6年度社会福祉法人南陽会一般会計予算(案)について
評議員会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回評議員会	令和5年6月27日	評議員6名 欠席者1名 監事1名	令和4年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について

			社会福祉法人南陽会理事・監事の選任について
第2回評議員会	令和5年9月29日	評議員4名 欠席者3名	施設整備基金の取崩しについて 令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第2号)について
第3回評議員会	令和6年1月16日	評議員6名 欠席者1名	社会福祉法人南陽会借入金の承認について 社会福祉法人南陽会理事の選任について
第4回評議員会	令和6年3月27日	評議員7名 各事業所代表者	令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第3号)について 令和6年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について 令和6年度社会福祉法人南陽会一般会計予算(案)について
<b>法人監査</b>	<b>開催日</b>	<b>出席者人数</b>	<b>議 題</b>
第1回法人監査	令和5年6月5日	監事2名 理事長	法人監査
<b>選任・解任委員会</b>	<b>開催日</b>	<b>出席者人数</b>	<b>議 題</b>
評議員選任・解任委員会	令和5年6月9日	外部委員1名 内部委員2名 理事長	社会福祉法人南陽会評議員の選任について

### 3、研修関係

開催月	研修内容	出席者
4月	福島県知的障害施設協会総会 (Zoom 開催)	施設長
5月	県社協障がい児者連絡協議会総会	施設長
	社会福祉法人等代表者会議 (県福祉監査担当) (Zoom 開催)	施設長
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	只見町社協評議員会	只見地活センター管理者
6月	福島医大医学部学生見学 (2日、30日)	施設長
	福島県精神保健福祉協会南会津支部役員会・総会・講演会	
	南会津町社協評議員会	
	安全運転管理者講習会 (22日) 総会 (28日)	
	下郷町4法人会議	施設長、ホイップ管理者
7月	福島医大医学部学生見学 (14日)	施設長
	南会津町長、下郷町長訪問 (24日) 只見町長訪問 (26日)	理事長、施設長
8月	南会津地方地域自立支援協議会全体会	施設長、相談事業所職員
	下郷町手をつなぐ親の会親子の集い	施設長、ホイップ、GH職員
	福島医大医学部学生見学 (28日、3名)	施設長
9月	福島県監査 (あかまつ荘)	理事長、監事、担当職員
	広域消防立ち入り調査	施設長
	昭和電工記念品贈呈式	施設長、ホイップ管理者
10月	福島医大医学部学生見学 (5日、1名)	施設長
	福島県知的障害者福祉協会障害者支援施設部会 (広野町)	施設長、副園長
	南会津地方地域自立支援協議会運営会議	施設長、相談事業所職員
	下郷町介護保険運営協議会	
	生活困窮者自立支援制度南会津地域連絡協議会	施設長

1 1 月	郡山市民生児童委員連絡協議会視察（あかまつ荘）	施設長
	明治生命ぬり絵本贈呈	
1 2 月	福島県知的障害者福祉協会理事会、施設長・管理者等第 2 回総会	施設長
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	南会津町社協評議員会	施設長
1 月	南会津町新年会	理事長
	下郷町 4 法人連絡会議	施設長、ホイップ管理者
2 月	南会津町成年後見センター運営協議会	施設長
	南会津精神保健福祉協会南会津支部役員会	
	下郷町介護保険運営協議会	
	福島県社会福祉協議会経営協総会セミナー	施設長、副園長
	南会津地方地域自立支援協議会運営会議	施設長、相談事業所職員
3 月	下郷町 4 法人連絡会議	施設長、ホイップ管理者
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	南会津町社協評議員会	施設長
	只見町社協評議員会	只見地活センター管理者
	南会津地域保健医療福祉協議会	施設長
	福島医大医学部学生見学（15日、1名）	

#### 4、補助金関係

補助事業名	内 容	交付決定日	補助金額総額	事業完了品日
清水基金	除雪用ミニローダー購入資金	令和 6 年 1 月 30 日	3,600,000 円	令和 6 年 3 月 18 日
福島県共同募金会	公用車購入資金(あかまつ荘)	令和 5 年 3 月 31 日	1,700,000 円	令和 5 年 12 月 25 日
	加湿空気清浄機(じねんと)	令和 5 年 3 月 31 日	100,000 円	令和 5 年 5 月 19 日
太陽生命厚生財団	下駄箱、机、いす（ホイップ）	令和 5 年 9 月 7 日	460,000 円	令和 5 年 10 月 2 日
松の花基金	農業用管理機（ホイップ）	令和 5 年 11 月 13 日	550,000 円	令和 5 年 12 月 1 日
南会津町	原油価格高騰対策事業補助金	令和 5 年 6 月 26 日	98,000 円	令和 5 年 7 月 14 日
	障がい者入所支援施設感染防止対策事業補助金	令和 5 年 9 月 12 日	10,000,000 円	令和 6 年 3 月 29 日
福島県	社会福祉施設等物価高騰対策事業補助金	令和 5 年 6 月 20 日	315,000 円	令和 5 年 9 月 27 日
	〃		1,380,000 円	令和 6 年 1 月 22 日
	〃		1,606,000 円	令和 6 年 4 月 12 日

#### 5、寄付

項 目	日 時	内 容
保護者 菅野顕光 様	令和 6 年 2 月 19 日	100,000 円
保護者 松村峰雄 様	令和 5 年 10 月 12 日	うるち米 10 kg
昭和電工アルミ缶リサイクル大賞副賞	令和 5 年 7 月 25 日	20,000 円
南陽会保護者会 様	令和 6 年 2 月 19 日	灯油ホームタンク（あかまつ荘）
		ウォータージャグ、電気ポット 電子レンジ（下郷作業所ホイップ）
昭和電工	令和 5 年 9 月 30 日	草刈り機 1 台、カステラナイフ 1 丁
田島ロータリークラブ様よりクリスマスケーキ寄贈	令和 5 年 12 月 23 日	全利用者様分（ケーキ・プリン各 100 個）
空き缶の寄贈（あかまつ荘、ホイップに寄贈）	常 時	アルミ缶リサイクル活動に使用

6、登記事項・定款変更

月 日	項 目	金 額
令和5年3月31日	労働基準監督署へ時間外労働に関する協定書の届け出提出 労働基準監督署へ就業規則の変更届	
令和5年4月20日	南会津町へ軽自動車税減免申請書提出	
令和5年5月12日	福島県税事務所へ自動車税減免申請書提出	
令和5年4月20日	下郷町へトラクター（小型特殊）減免申請書提出	
令和5年6月27日	法務局へ資産変更登記提出（郵送）	377,555,548
令和5年6月30日	現況報告書、監事監査報告書を県に提出	
令和5年7月4日	法務局へ理事長の新任登記提出（郵送）	
令和5年7月4日	田島税務署へ公益法人の損益計算書を提出	

7、人事管理

人 数	(退職者・新規者・異動・正規職員採用など)
① 退職者10名 (臨時5名)	<u>5月退職</u> 調理員 (あかまつ荘)
	<u>6月退職</u> 看護師 (あかまつ荘)
	〃 生活支援員 (あかまつ荘)
	<u>9月退職</u> 生活支援員 (あかまつ荘)
	〃 生活支援員 (ホイップ)
	〃 支援員 (あかまつ荘) パート
	〃 支援員 (あかまつ荘) パート
	<u>10月退職</u> 支援員 (ホイップ) パート
	<u>12月退職</u> 支援員 (ホイップ) パート
	<u>3月退職</u> 事務員 (あかまつ荘)
② 新採用者10名	正 規 職 員 採 用
	<u>4月採用</u> 0人
	臨 時 雇 用
	<u>6月採用</u> 看護師 (あかまつ荘フルタイム)
	〃 作業指導員 (ホイップパート)
	〃 支援員 (じねえんとパート)
	<u>7月採用</u> 調理員 (あかまつ荘フルタイム)
	<u>8月採用</u> 看護師 (あかまつ荘フルタイム)
	<u>9月採用</u> 支援員 (あかまつ荘パート)
	〃 支援員 (あかまつ荘パート)
〃 支援員兼世話人 (こまどり荘パート)	
<u>11月採用</u> 作業指導員 (ホイップフルタイム)	
<u>3月採用</u> 事務補助 (あかまつ荘フルタイム)	
③ 人事異動	異動兼内部昇格
	下郷作業所ホイップ管理者兼サビ管 → あかまつ荘副園長兼生活支援員
	こまどり荘管理者兼サビ管 → 下郷作業所ホイップ管理者兼サビ管
	相談センター相談支援専門員 → こまどり荘管理者兼サビ管
	あかまつ荘主任生活支援員 → 相談センター所長兼相談支援専門員
あかまつ荘看護師 → こまどり荘看護師兼世話人	



④ 職員採用試験	正規職員採用試験
	なし（臨時職員については応募があり次第随時面接を実施した。）

## 8、福利厚生

項目	内容
健診・予防注射代負担	定期健康診断及びインフルエンザ予防注射代を負担した。
職員クラブへの助成	新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブへの助成は行わなかった。
職免休暇、資格報奨金	資格取得推進のため研修日の職免休暇付与、資格取得報奨金を支給した。
職員処遇の配慮	職員用駐車場を借り上げた。業務災害総合保険に加入した。 制服及び作業着の支給を実施した。

## 9、財務管理

項目	内容
会計管理体制の整備 ・運用状況の点検	安定的に継続した活動が行えるように、宍戸会計事務所に財務会計に関する事務（決算事務、帳簿）の定期的なサポートを委任した。

## 10、主な施設・設備等の整備

項目	内容
あかまつ荘	15居室の床改修、7居室の畳替え、施設内壁補修、訓練棟壁・床修繕

## 11、法人全体の共通の取り組み

### （1）人権擁護委員会

#### ①活動内容

- ・「職員倫理綱領」、「職員行動規範」、「虐待防止マニュアル」の周知、定期的な聞取り、点検を実施
- ・虐待防止チェックリストの確認を職員会議の中で周知した。
- ・障がい者施設関係の権利擁護に関する取り組みについて協力をした。

#### ②年間実施内容

開催月	内容	備考
毎月	各事業所にて人権擁護に関する内容を確認	全職員
6月	福島県障がい児者福祉施設協議会人権倫理委員会	担当者研修に参加、伝達講習の実施
1月	福島県知的障害者福祉協会人権倫理委員会へのアンケート協力	担当者が協力

### （2）苦情解決委員会

#### ①活動内容

- ・各事業所にて毎月のスタッフ会議にて苦情受付、内容検証、経過追跡、最終結果の確認を行い、適切な対応に努めた。第三者委員会については、新型コロナウイルス感染症の感染を懸念し開催できなかった。

#### ②年間実施内容

開催月	内容	備考
毎月	各事業所にて苦情解決に関する内容を報告、確認	全職員
11月	福祉サービスに関する苦情解決研修会	担当者研修に参加、伝達講習の実施

### （3）法人全体その他の委員会

名称	業務内容	実施時期
給食委員会	食事に関すること（給食委員）	毎月のスタッフ会議
保健委員会	保健衛生、感染症予防に関すること（保健委員）	毎月のスタッフ会議

(4) 法人全体・共通の会議・研修等

名 称	業 務 内 容	実施時期
＜法人会議・研修＞		
職員会議	法人全職員に関する会議（全職員）	9月、3月
あかまつ荘職員会議	あかまつ荘の職員会議（支援員、事務厨房、看護・栄養士）	毎月
法人全体研修	法人全職員での研修（全職員）	11月
代表者会議	法人事業の運営会（理事長、管理者、専門生活員、主任生活員）	毎月
＜事業所毎の会議・研修＞		
支援会議	利用者支援に関する会議（各事業所内の職員）	毎月
スタッフ会議	各事業所での行事予定、課題検討（各事業所内の職員）	毎月
伝達講習会議	各事業所での伝達講習（各事業所内の職員）	毎月
申し送り	各事業での朝・夕の申し送り（各事業所内の職員）	毎日
＜利用者、保護者の会議＞		
自治会	利用者自らの主体的な企画・運営（利用者、担当職員）	毎月
保護者会	保護者の親睦・交流、事業所支援 ●4月8日：役員会 ●4月29日：総会 ●6月24日：奉仕活動 ●8月10日：花火大会 ●10月21日：収穫祭 ●11月18日：奉仕活動 ●12月25日：クリスマス・忘年会	7回 (花火大会、収穫祭、忘年会は会長のみ出席)

(5) 公益的取組

下郷町の四か所の社会福祉法人(南陽会、下郷町社会福祉協議会、南会津会、明智福祉会)合同で公益的取組を今年も行った。(5年目の取り組み)

・会議打ち合わせ

令和5年3月17日…令和5年度の事業打合せ及び活動計画について

令和5年6月2日…令和5年度の活動についての話し合い。

令和6年1月24日…令和5年度の活動報告及び令和6年度の実施計画について

令和6年3月19日…令和6年度の実施状況について

- 1) 買い物支援サービス…高齢者のみの世帯及び障がい者世帯を対象に、下郷町内のスーパー等へ送迎を行った。期間：令和5年4月14日～12月18日まで

法人名	延べ利用者	実利用者	送迎日数
下郷作業所ホイップ	153名	14名	18日間
(特養) 下郷ホーム	108名	12名	18日間
(特養) レジデンスふじの郷	155名	12名	18日間
下郷町社会福祉協議会	166名	13名	18日間
合 計	582名	51名	72日間

- 2) サマーショートボランティア

当初は町内の4法人の事業所において、小学生、中学生、高校生を対象に介護ボランティア等の体験を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から下郷作業所ホイップにて「福祉の仕事学習会」として、各事業所説明会とパン作り体験を行った。

実施日：令和5年7月2日(日) AM9:00～ 昼食を摂り参加者を送り届ける。

場 所：下郷作業所ホイップ (体験学習)、お食事処きらく (食事会)

参加者：3名 (小学生1名、中学生2名)

《各事業所 事業報告》

障害者支援施設 あかまつ荘

1、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設 あかまつ荘	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1	1				
	副主任生活支援員	1	1				
	生活支援員	7	7				
	作業指導員	7	3		4		非常勤：8時間以内勤務
	事 務	4	4				
	看 護 師	2			2		
	栄 養 士	1	1				
	厨 房	6	5		1		
合 計		30	22	1	7		

(令和6年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和6年3月末現在)

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
施設入所支援	29人	14人	43人
生活介護	29人	14人	43人
短期入所	0人	2人	2人

(2) 障害状況

ア障害名

事業名/種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	2人	42人	1人	0人	45人
生活介護	2人	42人	1人	0人	45人
短期入所	1人	2人	0人	0人	3人

イ障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
施設入所支援	0人	0人	2人	17人	10人	14人	0人	4.84
短期入所	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	3.50

(3) 年間利用状況

事業名／利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	366日	45人	15,080人	91.6%
生活介護	243日	45人	9,145人	83.6%
短期入所	366日	4人	195人	13.3%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

5、班別活動

	項目	活動内容
「いきいき班」	作業活動	園周辺の環境整備、アルミ缶リサイクル、手工芸等の創作活動を提供した。
	レクリエーション ドライブ	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した 気分転換にドライブへ行く計画を立てていたが、感染再拡大や職員不足などが重なり実施できなかった。
「さくら班」	機能訓練 生活介護訓練	身体機能、体力、生活能力の維持活動 食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した
	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手洗いを励行した
	レクリエーション	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した 気分転換にドライブへ行く計画を立てていたが、感染再拡大や職員不足などが重なり実施できなかった。

## 6、主な行事

4月	お花見会（あかまつ荘利用者のみ参加） 保護者会総会	10月	南陽会秋祭り（南陽会利用者のみ） 保護者、来賓の方は招待無し。
5月	障がい者総合体育大会（2名参加）	12月	クリスマス会・忘年会 （あかまつ荘利用者のみ参加） 松田京子さん送別会
6月	貯湯槽清掃に伴う外出		
7月	七夕会	1月	団子さし 新年会
8月	花火大会（あかまつ荘利用者のみ参加）		
9月	お月見会	2月	節分
11月	収穫祭	3月	ひな祭り会

## 7、研修

実施月	研修内容
<b>外部研修</b>	
5月	令和5年度社会福祉施設等職員初任者基礎研修（オンライン研修1名）
6月	令和5年度安全運転管理者講習会（1名） 南会津地区安全運転管理者協会総会（1名） 令和5年度福祉職員キャリアパス対応中堅職員研修会（1名）
8月	令和5年度福島県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会 会津地区会議（1名）
9月	特定給食施設等講習会（2名）
10月	令和5年度強度行動障害者基礎研修（1名）
2月	南会津圏域障がい児者虐待防止等勉強会（1名） 令和5年度行動強度支援計画作成スキルWEB学習会（オンライン研修1名）
<b>内部研修</b>	
感染症予防対策研修（オンライン研修）に参加し、学んだ内容について内部研修の場を設定し、全職員に伝達し共有した。	
<b>自己啓発</b>	
講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した。	

## 8、ボランティア活動

『ボランティア依頼』	感染症防止のため、ボランティアへ協力依頼はしなかった。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	感染症防止のため、ボランティア活動は実施しなかった。

## 9、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	駐車場清掃・軒下掃除
6月	保護者合同奉仕作業
7月	下駄箱清掃（利用者の履物チェック）
9月～10月	職員奉仕作業（施設周辺・駐車場の清掃作業、坂道の木の枝伐採作業）
11月	保護者合同奉仕作業（クモの巣払い、雪囲い、園周辺の清掃）
12月～2月	利用者居室の改修工事に伴う居室内の整理
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

## 10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
(2) 感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の体調管理・マスク着用・手指消毒・施設内消毒・行動自粛・面会制限等予防行動に努めていた</li> <li>・感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた</li> <li>・コロナワクチンについては、接種を希望する利用者・職員全員7回目接種まで終了した</li> </ul>
(3) 安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

### 保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員/(人)		延診察日数/(日)		一人当たり平均診療日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	7	23(救外19)	265	123(救外19)	37.85	5.34
精神科	5	30	500	135	100	4.5
耳鼻科	0	5	0	17	0	3.4
皮膚科	0	1	0	1	0	1
婦人科	0	0	0	0	0	0
眼科	0	1	0	1	0	1
外科	2	4	42	5	21	1.25
口腔外科	0	0	0	0	0	0
歯科	0	6	0	25	0	4.16
泌尿器科	0	4	0	42	0	10.5
整形外科	1	6	14	14	14	2.33
脳神経内科	0	3	0	13	0	4.33
脳神経外科	0	0	0	0	0	0
計	14	364	821	376	172.85	37.81

### 利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

<利用者>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R5. 5. 24	9名	乳がん検診	保健衛生協会
R5. 6. 2	8名	子宮がん検診	保健衛生協会
R5. 8. 23	58名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R5. 8. 23	58名	心電図	保健衛生協会
R5. 8. 23	58名	血液検査	保健衛生協会
R6. 3. 7	52名	血液検査	保健衛生協会

<職員>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R5. 9. 8	42名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R5. 9. 8	42名	心電図	保健衛生協会
R5. 9. 8	42名	血液検査	保健衛生協会
R5. 9. 8	42名	尿検査	保健衛生協会
R5. 9. 8	42名	視覚・聴覚検査	保健衛生協会
R5. 9. 8	33名	便潜血検査	保健衛生協会
R5. 9. 8	33名	胃透視検査	保健衛生協会
R6. 3. 7	12名	胸部レントゲン(夜勤実施者)	保健衛生協会
R6. 3. 7	12名	血液検査(夜勤実施者)	保健衛生協会

### 1 1、給食管理

① 利用者のニーズにあった、喜ばれる食事の提供。 利用者にとって、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた。 利用者、個々の状態や疾病に適した食事の提供に努めた。			
4月	お花見会 (利用者のみ)	10月	秋祭り：(利用者のみ)
5月	子どもの日：ちまき風おこわ	11月	収穫祭：しんごろう、豚汁
6月	ドライブ行事 (貯湯槽清掃)・誕生会	12月	誕生会、忘年会&クリスマス会 (お弁当)
7月	七夕・土用丑の日	1月	お正月、新年会、団子さし
8月	花火大会	2月	節分料理
9月	受水槽清掃：外注弁当、誕生会	3月	ひな祭り、誕生会

② 個々の咀嚼状況に合わせた食形態の提供	
食事形態	人数 (R6・3/31 現在)
普通食	26名
きざみ食	5名
ミキサー食	12名
合計	43名

③ 食の安全への取り組み
利用者・職員共に衛生面に心がけ、食中毒・感染症対策に努めた <実施内容> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関係職員の月1回の検便検査の実施 (10月～3月においてはノロウイルス検査の追加)</li> <li>●取引業者の自主検査の提出依頼</li> <li>●毎日の水質検査、食材検収簿の記載、調理員・配膳者の衛生、体調チェック (調理員) 等</li> </ul>

## 1 2、防災

【基本方針】	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
【実施内容】	
＜体制整備・減災のための事前対策に努めた＞【BCP（業務継続計画）策定済】	
①立地条件と災害予測	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した
②災害時体制整備	役割分担、連絡体制を整備した
③情報整理	施設利用者情報を把握した
④基準等の策定	避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した
⑤事前準備・安全対策	食糧等備蓄、施設の定期点検
⑥教育・訓練	職員への防災教育、防災訓練を実施した

### 【年間防災活動】

月	月別防災項目	実施内容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
9	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・避難経路・危険箇所の確認 ・防災用具の点検・減災のための事前対策
1 2	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
2	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
3	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備

## 1 3、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた



# 令和5年度 下郷作業所ホイップ

## 1、事業概要

就労移行支援	就労に必要な知識や体力を身に着け、一般企業への就労と自立を目指して取り組んだ。
就労継続支援B型	自分達で作ったものを買ってもらうことで、賃金を得る喜びを感じると共に地域に暮らす一員としての役割を知ってもらい、その上で一般就労に結び付けられるような支援を目指し取り組んだ。

## 2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
下郷作業所 ホイップ	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1		1			
	事 務 員	1	1				
	栄 養 士	1			1		
	就 労 支 援 員	1	1				
	生 活 支 援 員	3	3				臨時職員
	職 業 指 導 員	3	2		1		臨時・パート職員
合 計		10	3	1	2		

(令和6年3月末現在)

## 3、利用者の状況 (令和6年3月末現在)

### (1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
就労移行支援 (パン班)	0人	0人	0人
就労移行支援 (農耕班)	0人	0人	0人
就労継続支援B型 (パン班)	3人	4人	7人
就労継続支援B型 (農耕班)	10人	11人	21人

### (2) 障害状況

#### ア 障害名

事業名/種別	身 体	知 的	精 神	そ の 他
就労移行支援	0人	0人	0人	0人
就労継続支援B型	3人	19人	6人	28人

#### イ 障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
就労移行支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
就労継続支援B型	0人	4人	8人	5人	2人	1人	12人

### (3) 年間利用状況

事業名/利用項目	開 所 日 数	定 員	延べ利用人数	利 用 率
就労移行支援	247日	6人	0人	0%
就労継続支援B型	247日	26人	4,481人	69.8%

#### 4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	個別支援計画の作成、モニタリング、ケース会議を実施した
パン製造・販売活動	下郷物産館、道の駅(下郷・田島)、合庁、病院等への納品。 企業や役所等への販売・納品の他、月1回南郷・只見方面と館岩方面への納品・販売と特売日の実施。
農作業・リサイクル活動 手工芸品の販売 委託業務	野菜やよしず、手編みカゴ等の手工芸品の店舗販売と物産館への納品。 アルミ缶とペットボトルのリサイクル活動。「株式会社おくや」より、落花生栽培と殻むき作業の委託と大内宿「三澤屋」よりネギの皮むき作業の委託。また、荒川産業より銅線剥離の作業を受けている
生活相談	相談センターの協力も得ながら、個々の相談に応じる。相談という形に拘らず、作業の空いた時間や利用者の話しやすい時に話しを聞くようにした
健康管理	その日の利用者個々の状態によって、検温、血圧測定等を行ないながら対応した。また、コロナ対策として毎朝の検温と手指消毒の徹底
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	避難訓練の実施、自然災害等における避難経路、危険箇所の確認した
職員の資質の向上 (研修の強化)	法人研修、外部研修、取引業者が行う商品開発勉強会へ参加した 作業内容の充実を図る為、6次化プランナーの方や会津豆倶楽部の代表者との商品開発や、作物の栽培についての話し合いを行ないアドバイスを頂いた
地域交流、ボランティア交流	下郷町主催のいきいきサロンや地域イベントでのパン・手工芸品販売
送迎の支援	湯野上地区、中妻地区、檜原地区、十文字地区、枝松地区、白岩地区、長野地区、田部原地区、田島地区の朝夕の送迎対応した
利用者の工賃について	日額500円×実働日数。月1回程度休日に稼働日を設け、通所日数の確保に努める。
障害者優先調達推進法に則り、物品や役務の提供	県の障がい者就労施設等物品等調達に登録し、情報提供した。関係機関のホームページにて閲覧可
一般企業への就労移行支援	ハローワーク、就労生活センターふろんていあの協力を得ながら職場実習、実習受け入れ先の開拓。

#### 5、班別活動

	大項目	小科目	活動実績
農作業班	農業	野菜栽培 地域特産品づくり	芋類、葉菜類、玉葱、豆類、千成ほおずき等の栽培 店舗販売と物産館納品
	リサイクル活動	アルミ缶 ペットボトル	洗浄、乾燥、潰し後、委託業者が回収。銅線剥離後荒川産業へ納品 洗浄・乾燥後、ペットボトルリサイクル機へ
	創作活動	ヨシ編み カゴ編み	店舗販売と物産館へ納品。イベントでの販売や注文販売
	委託業務	落花生栽培 ネギの皮むき	喜多方市にある製菓業者より委託を受け、落花生の栽培や殻剥きした完成品の納品。大内宿三澤屋のねぎの皮むき、納品。
パン製造班	パン製造	仕込み・分割・成型・焼成・包	<納品・販売先> 下郷町物産館、下郷・湯野上保育所、あかまつ荘、祇園会館、あたご作業所、合庁、南会津病院

		装・配達	御蔵入り交流館、南会津役場、南会津社協、下郷町社協、道の駅(田島・下郷)、毎月1回特売日実施と館岩方面・只見方面へ納品・販売 ※イベント等での販売や納品
	パン販売	接客販売	
就労移行支援事業	就労学習・面接支援		履歴書の書き方や面接練習
	一般常識の習得		接客マナーや言葉遣い等
	実習・体験活動支援		援農実習
	求人活動支援		就労支援会議等への参加
	相談支援		就労定着支援

## 6、主な行事

4月	お花見会(会食のみ)
8月	バーベキュー(外注弁当で代替)
12月	クリスマス・忘年会(会食のみ)
1月	団子さし
2月	節分(会食のみ)

## 7、研 修

外部研修	障がい者福祉職員研修 衛生推進者養成研修 HACCP研修会
内部研修	法人研修参加

## 8、ボランティア活動

『ボランティア交流』	公益的取組みによる買い物支援サービス
『ボランティア活動(奉仕活動)』	一人暮らしや高齢者、障がい者世帯を対象とした方々の買い物支援を行なった

## 9、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
4月	施設周辺のゴミ拾い等
8月	店舗、厨房内、食堂、作業室内大掃除
12月	大掃除
その他	施設周辺の除草作業

## 10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	手洗い・うがいの励行、利用者の体調に応じたの血圧・体温測定
(2) 感染症対策	手洗い・うがいの励行、利用者・職員の体調チェック 新型コロナウイルス感染防止のため、通所前の体温測定の徹底、利用時のマスク着用及び手洗い・うがいの励行。
(3) 安全衛生対策	手洗い・うがいの励行、厨房作業時の手袋とヘアキャップの着用
(4) 職員の医療的ケアの向上	嘱託医や看護師からの指導、助言

## 1 1、食品衛生管理

<b>【基本方針】</b>
○食品衛生管理に細心の注意を払う ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
<b>【内容】</b>
① 食の安全に取り組んだ 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた <実施内容> 手洗い・うがい・消毒の励行、ヘアキャップ・マスク着用の徹底、利用者・職員の体調確認、体調不良時の対応、衛生管理の徹底 トイレ掃除の励行

## 1 2、防 災

<b>【基本方針】</b>
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
<b>【内容】</b>
避難訓練、消防署の立ち入り調査、職員による避難誘導の確認、避難誘導時の危険箇所の確認

### 【年間防災活動】

月	月 別 防 災 項 目	実 施 内 容
4	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
5	職員の避難訓練	自然災害を含めた、地区の避難場所と避難経路の確認
6	避難訓練	非常口の確認
8	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
9	消防署立ち入り調査	消防署員による非常ベル等の点検と確認
11	暖房器具点検	暖房器具の使用前の安全点検
3	暖房器具の点検と掃除	職員による確認と掃除

## 1 3、事故防止

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を図った。
送迎バス等車両の運転	車両の点検、送迎担当職員の安全確認に努めた 送迎車両運転者講習会への参加

# 令和5年度 すみれ荘

## 1. 事業所概要

- 1) 場 所 福島県南会津郡下郷町大字湯野上字居平乙836番地3-2  
共同生活住居 4ホーム

共同生活援助 すみれ荘 定員 5名 ※10月より休止	下郷町湯野上字居平乙836-3-2 主たる事業所と共同生活住居
共同生活援助 たんぽぽ荘 定員 6名	南会津町田島字田部原41-2 共同生活住居
共同生活援助 ひまわり荘 定員 5名	下郷町豊成字檜原2489 共同生活住居
共同生活援助 いちごハウス 定員 5名	南会津町田島字北下原31-2 共同生活住居

- 2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 21名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活をおくる居住において、入浴・排泄の援助、食事や洗濯、掃除などの家事、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

- 3) 職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
すみれ荘	管理者兼サービス管理責任者	1		1			
	生活支援員	1		1			
	世 話 人	4			4		非常勤：7時間
合 計		6		2	4		

## 2. 基本方針

障がい者の地域生活移行の手段として、介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）における共同生活住居を設置運営し、利用者の就労継続並びに社会生活能力の向上に努め、自立した地域生活移行を推進した。

## 3. 主な活動内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援の提供。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護。
夜間体制支援	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘・サービス管理責任者専用携帯・警備会社委託）、安全な生活を提供した。
生活相談	利用者・家族の方の生活全般の相談援助を行った。
健康管理	利用者の健康維持のため、個々の障害程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防に努めた。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき、事前対策や定期防災訓練を実施した。

職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。
地域住民との連携	地域行事、活動に積極的に参加して、住民との交流をとおして障がい者への理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇の有意義な過ごし方について支援を行った。
送迎の支援	買物支援、定期受診など送迎支援の提供をした。

#### 4. 主な行事

4月	お花見・保護者会総会・外出支援	10月	南陽会秋祭り・外出支援
5月	食事会・外出支援	11月	芋煮会・外出支援
6月	ドライブ・外出支援	12月	クリスマス忘年会（各ホームで行った）
7月	田島祇園祭・外出支援	1月	新年会・外出支援（初詣、買い物支援）
8月	納涼会（バーベキュー）・外出支援	2月	ドライブ・外出支援
9月	外出支援	3月	自治会（食事会）・外出支援

#### 5. 日課表

時間	平日の流れ	休日の流れ
6:00	起床の支援・髭剃り支援・バイタルチェック	起床の支援・髭剃り支援・バイタルチェック
7:00	朝食・活動準備支援	朝食・活動準備支援
9:00	日中活動に参加	余暇支援
12:00	昼食	昼食
13:00	日中活動に参加	余暇支援
16:00	帰宅・入浴・日常生活支援等	余暇支援
18:00	夕食	夕食
19:00	余暇支援	余暇支援
20:00	夜間処置・服薬支援	夜間処置・服薬支援
21:00	就寝	就寝
夜間	常時連絡体制 *夜勤業務（介護看護支援が必要な場合）	常時連絡体制 *夜勤業務（介護看護支援が必要な場合）

#### 6. 職員勤務時間

職種	区分	就業時間
管理者	日勤	8:30～17:30
サービス管理責任者	日勤	8:30～17:30
生活支援員	日勤	8:30～17:30
世話人	朝勤務	6:00～9:30
	夕方勤務	17:00～20:30

#### 7. 研修

外部研修	①福祉職員階層別研修、障害別課題研修、制度に関する研修等 ②給食施設指導研修、感染予防研修、肥満等予防研修等 ③サービス管理責任者研修、防火管理に関する研修等 ④グループホーム関係研修、視察研修
------	--

	⑤法人職員全体研修（人権擁護、法制度、防災、感染予防）
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認、反省
自己啓発	① 講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した。

## 8. ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事、活動に積極的に参加して、住民との交流をとおして障がいへの理解が深まるよう努めた。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾いなど）に努めた。

## 9. 環境美化事業

活動時期	活動内容
4月・9月・12月	各ホーム内清掃・周辺清掃・雪囲い・大掃除（相談事業所と共同で行った）
その他	ホーム内清掃・トイレ掃除は世話人・利用者（当番制）で実施した。

## 10. 保健衛生

(1) 利用者の健康維持を推進します	○日々の健康状態の把握、家族と連携し、健康維持に努めた。 ○ご家族、病院との連携、体調変化に応じ、速やかな対応 ○利用者へ健康診断（血液検査・胸部レントゲン検査等）を実施、必要時、嘱託医より結果説明・指導を受けた。
(2) 感染症対策に努めます	○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応に努めたが感染経路は不明だが12月、たんぽぽ荘で利用者2名、ひまわり荘で利用者1名が感染した。 ○発生時、状況把握に努め、重症・合併症の予防に努めた。
(3) 安全衛生に努めます	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。
(4) 職員の医療的ケアの向上を目指します	○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する研修を行い、知識・技術の向上を目指した。

## 11. 給食管理

<b>【基本方針】</b>
○利用者個々の状態や疾病に適した食事の提供をした。 ○利用者のニーズに合った喜ばれる食事の提供をした。 ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化をした。
<b>【内容】</b>
① 楽しみのある食事を提供した。 利用者の声に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた。 季節食や行事食を通して季節の味覚、地元の味を伝えた。
② 一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。 一人ひとりの喫食状況に合わせた食形態を提供し、ソフト食の導入に努めた。
③ 食の安全に取り組んだ。 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。

## 1 2. 防災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処した。
【内容】
<p>&lt;体制整備・減災のための事前対策&gt;</p> <p>①立地条件と災害予測、情報整理、基準等の策定、事前準備・安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ホームの状況把握と予測、食料等備蓄、施設・設備の定期点検、利用者情報の把握</li> </ul> <p>② 災害時体制整備、教育・訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担、連絡体制整備、職員の招集、防災教育、防災訓練の実施を行った。</li> </ul> <p>&lt;災害発生初動期の対応&gt;</p> <p>①災害情報の収集と発信と消火・避難・点検・救護・報告活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害情報の収集と判断、避難誘導、予防・初期消火活動、応急手当、利用者・施設の状況報告</li> </ul>

※上記の対応について、定期的な避難訓練を通して確認を行った。

※防災マニュアルを定期的に全職員で点検・整備を行った。

### 【年間防災活動】

月	月別訓練内容	計 画
4	防災マニュアルの整備・点検 防火設備の確認	防災マニュアル・避難者名簿・防火設備の確認と点検、体制整備・減災のための事前対策の点検をした。
6	避難訓練（避難誘導）	避難場所、経路の確認防災用具の確認を行った。
8	応急処置・災害知識に関する研修会	講師の依頼
9	避難訓練（避難誘導）災害訓練	地震を想定した訓練
11	避難訓練（避難誘導）災害訓練	土砂崩れを想定した訓練、危険箇所の確認
3	地域消防との連携した災害訓練	地域交流と連携

## 1 3. 事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、救急救命等必要な研修の機会を設けるとともに、ヒヤリハットレポートなどを活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	共同生活援助の提供を行っているときに利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに医療機関への連絡を行う等の必要な措置を講ずるとともに、管理者に報告するものとした。
夜間（夜勤）体制支援	夜間及び深夜の時間帯を通じて、緊急事態の対応に常時連絡体制の確保（あかまつ荘・サービス管理責任者専用携帯・警備会社委託） 夜間帯の介護支援（排泄・移動など）が必要な場合の夜勤業務の実施を行った。
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。



# 令和5年度 只見地域活動支援センターじねえんと

## 1、事業概要

地域活動支援センターⅢ型	地域活動支援センター「じねえんと」は障害者総合支援法に基づいた市町村が実施する、地域生活支援事業の委託を受けて設置されたものである。地域で生活する障がい者の自立した日常生活、社会生活を実現するための相談や支援を行うとともに、生産活動や創作的活動及び地域交流活動、日常生活活動への支援を行うことで、障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。
--------------	--

## 2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
只見地域活動支援センターじねえんと	管理者兼生活支援員	1		1			
	作業指導員	3	3				非正規職員
合 計		4	3	1			

(令和6年3月末現在)

## 3、利用者の状況（令和6年3月末現在）

### (1) 利用者数

	男性（児童）	男性（成人）	女性（児童）	女性（成人）	合計
只見地域活動支援センターじねえんと	1人	15人	0人	15人	31人

### (2) 障害状況

#### ア 障害名（重複者含む）

	身体	知的	精神	その他
只見地域活動支援センターじねえんと	3人	20人	13人	1人

#### イ 年齢層

	0～5歳	6～12歳	13～18歳	19～30歳	31～50歳	51～65歳	65歳以上	平均年齢
只見地域活動支援センター	0人	0人	1人	4人	15人	7人	4人	44歳

### (3) 年間利用状況

	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
只見地域活動支援センターじねえんと	224日	20人	1,818人	40%

#### 4、 提供したサービス内容

活動名	活動内容
軽作業	台巾作りを中心に手差し、バンダナキャップ、エコバッグ等の裁縫やアクリルたわし作りを行なった。
花壇管理委託業務	電源開発（株）より委託を受け、6月～10月までの間、月に一度の展示館周りの花壇の維持管理（草むしり、追肥等）を行なった。
凍み餅の製造・販売	ユネスコエコパーク伝承産品事業に参画する。前年度の温暖化のため仕込みができず在庫がなかったため、今年度も中止とした。
軽スポーツ	毎朝の日課として健康体操に取り組む。天気の良い日には日光浴を行い、室内ではボールを使ったゲームや輪投げ等で体を動かした。
学習活動	塗り絵、貼り絵、カード合わせ等を行い、個々の能力に合わせた内容を取り入れて、皆で楽しく活動を行った。
利用者交流	南会津郡内のイベントや交流行事が新型コロナウイルスの影響で中止となり交流の場を持てなかった。
地域交流	「地域の居場所づくり」に参加する。
就労支援	就労に関する相談や人間関係等に関する相談への支援を行った。
相談支援	来所してもらったり電話での相談受付を行ったり、みなみあいづ相談支援センターと連携して支援し、解決策を検討した。
健康管理	毎朝検温実施し新型コロナウイルス感染防止に努めた。毎週月曜日と金曜日の朝にバイタルチェックを実施した。（体重、血圧）
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	緊急時や災害時の避難方法について、必要に応じて利用者に説明を行い、消防署より指導を受け、同建物内の只見町社協等と連携を図り、避難誘導や対応について統一性を図った。
職員の資質の向上（研修の強化）	職員の資質向上のため研修会等へ参加し、それを基にスタッフ会議等で話し合い、意識の共有化を図った。
送迎の支援	町外からの利用者の利用の際の送迎を実施した。
ボランティア育成	毎月ボランティアの方との交流行事を取り入れ、障がい者に対する理解促進と支援体制強化への協力を図った。
清掃委託業務	只見町から保健福祉センター清掃業務の委託を受け、週1回施設2階の清掃を実施した。

#### 5、 主な行事

6月	交流会・花壇花植え	12月	クリスマス会
9月	お月見会	1月	団子さし
10月	芋煮会	2月	節分
11月	焼きいも会	3月	朝日のいいもの集めちゃった市出店

#### 6、 研修

外部研修	分野交流研修・障がい福祉研修
内部研修	法人内部研修

※新型コロナの関係で実施できなかった。

## 7、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
5月	駐車場掃除、エアコンフィルター掃除、ガラス磨き、くもの巣取り等を行った。
10月	花壇管理業務終了後、展示館周りの清掃やゴミ拾いを実施した。
11月	エアコンフィルター掃除、駐車場の落ち葉拾い、側溝の土砂上げ等を行った。

## 8、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	毎週月曜日と金曜日の朝礼後、バイタルチェックとして体重、血圧測定を行い、利用者の健康管理の把握に努めた。
(2) 感染症対策	手洗いうがいの実施、登所時や外出後は手を消毒してから入ることを心がけた。

## 9、食品衛生管理

【活動内容】	
①調理実習	新型コロナ感染対策のため中止とした。
②ボランティア調理実習	新型コロナ感染対策のため中止とした。
③地域イベント出店	福祉の里夏まつり（8月）、只見町文化祭（11月）に出店し、五目ふかしを販売予定であったが、新型コロナの関係でイベントが中止となった。
<b>&lt;実施内容&gt;</b>	
●調理実習等で食品を扱う際は、利用者・職員・ボランティアさんに、食中毒や感染症予防のため、エプロン、マスク、三角巾、手袋の着用を徹底した。	

## 10、防災

### 【防災活動】

月	実 施 項 目	活 動 内 容
5月	火気器具の確認、避難時の方法説明	避難経路、器具の設置場所の確認、器具の使用状況や不具合等の確認、利用者への説明等を行った。
10月	危険箇所の確認、修繕	室内、通路、廊下等の落下物や転倒物の点検、危険箇所や破損状況を確認し、必要な部分については点検及び修繕の検討を図った。

※避難訓練等については、只見町社協と合同で立案・実施するよう検討した。

## 11、事故防止

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	危険箇所の把握と、修繕を必要とされる箇所については町へ協議し、修繕を依頼した。
送迎バス等車両の運転	送迎業務を行う職員に対しての安全運転と、全座席のシートベルト着用の徹底を周知した。

# 令和5年度 みなみあいづ障がい者相談センター

## 1. 事業概要

市町村相談支援事業	【南会津郡4町村委託事業】障がい児（者）福祉に関する様々な問題について、本人やご家族等からの相談に応じ、情報の提供や助言、その他の必要な支援を行うとともに、障がいのある方の権利擁護のに努める。
計画相談支援事業	【サービス等利用計画作成】障がい福祉サービスの利用者に対して、指定相談事業者（当事業所）がサービス等利用計画書を作成し、サービスの利用調整を行う。事業所サービスが計画に基づき提供されているかをモニタリングにて確認し報告を行う。
一般相談支援事業	【地域移行】施設等入所者又は精神科病院等に入院している精神障がい者に対して、住居の確保やその他の地域生活の活動に関する相談支援。 【地域定着支援】地域で単身生活する障がい者等の常時の連絡体制を確保するとともに、地域生活が適切に継続できるよう関係機関と連携しながら支援にあたる。

## 2. 職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
みなみあいづ 障がい者相談 センター	施設長兼相談支援 専門員	1	1				
	相談支援アドバイザー 兼相談支援専門員						
	相談支援専門員						
	事務兼相談員	1			1		パート
	相談員						
合 計		2	1		1		

(令和 6年 3月末現在)

## 3. 実績件数の状況（令和 6年 3月末現在）

令和 5年度 市町村相談支援事業 実績件数				単位：件									
町村名	上半期			下半期			年間合計						
南会津町	66			42			108						
下郷町	91			50			141						
只見町	84			81			165						
桧枝岐村	0			0			0						
合 計	241			173			414						

  

令和 5年度 計画・地域相談支援 実績件数													単位：件
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	0	0	0	33	7	16	22	19	34	37	34	36	238
一般相談	0	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14
合計	0	1	2	34	8	17	23	20	35	39	36	37	252

#### 4. 提供したサービス内容

	活動名	活動内容
1	地域の事業所や行政機関等との連携	多種多様な機関・事業所との連携を図りながら、専門的・個別的な相談及び助言を行い、管内の支援体制の整備に努めた。
2	計画相談作成の支援 (障がい児・者計画相談)	今年度の計画相談年間作成件数は238件の実績となった。支援が途切れてしまっていた方に対しては、再度計画を立て直して対応しセルフプランで対応をしていた方についての受け入れも行った。
3	地域移行・地域定着 (一般相談)の実施	地域移行の実績はないが、病院などと連携しながら町村委託相談事業や計画相談事業の範囲で対応した。地域定着においては1月まで1名の利用があったが施設入所となった為、1月で終了となった。
4	自立支援協議会の活動への参加・協力	南会津地方地域自立支援協議会の主要メンバーとして参加するとともに事務局として運営を行った。南会津町、下郷町の自立支援協議会にも委員として参加し、地域の障がい福祉に関する状況や課題について情報提供している。
5	南会津郡4町村委託相談事業の丁寧な対応	障がい福祉に関する各種相談や情報提供及び助言等に取り組んだ今年度の年間実績件数は414件となった。
7	緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルや下郷町防災マップを確認した。避難訓練は実施できなかった。
8	職員の資質の向上 (研修の強化)	各種研修会への積極的な参加、会津圏域相談支援専門員協会勉強会、精神障がい者ワーキンググループへの定期参加、基幹センター主催の事例検討会等への参加を行った。
9	個人情報の取り扱い	相談業務により知り得た個人情報を厳重に取り扱った。

#### 5. 主な活動

自立支援協議会の活動	活動内容	実施時期
運営会議	事務局として運営への協力と調整	6月・10月・2月
自立支援協議会	運営会議、全体会議	6月、8月、
行政課題	構成委員として参加	6月、2月
人材育成	相談支援専門員養成研修実施	5月、6月、7月
地域課題	管内企業への働きかけ	随時

#### 6. 研修(会議)

外部研修	研修(会議)内容
4月	社会福祉法人南陽会の人員配置変更等に関する会議
5月	令和5年度福島県相談支援従事者養成研修(Zoom) 令和5年度福島県障がい福祉サービス事業者ファシリテーター養成・フォローアップ研修
6月	令和5年度福島県障がい者相談支援従事者研修(2日間)、精神保健福祉に関するWG 令和5年度相談支援従事者養成研修実地研修

7月	高次脳機能障がい者に関する圏域別基礎研修、相談支援事業に関するWG、令和5年度福島県障がい者相談支援従事者養成研修（3日間）、第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定に関する研修会、高次脳機能障がい圏域別連絡会議
8月	精神保健福祉に関するWG、心の健康相談との研修会、令和5年度生活介護事業所の利用に向けた進路対策会議、令和5年度南会津保健福祉事務所難病患者地域支援連絡会議
9月	相談支援従事者養成研修実地研修、令和5年度福島県障がい者相談支援従事者専門コース別研修、令和5年度福島県障がい者相談支援従事者養成研修（3日間）、令和5年度地域支援チーム戦略連携会議、会津障がい者就業生活センター運営連絡会、成年後見制度利用に関する事例検討会
10月	会津西部基幹相談支援センター/障がい福祉研修会事例検討会、精神保健に関するWG、心の健康相談との研修会、
11月	令和5年度南会津圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修、成年後見制度利用促進に係る検討会、南会津地区における新たな特別支援学校の設置に向けた懇談会、
12月	只見町地域自立支援ネットワーク会議、心の健康相談との研修会
2月	下郷町自立支援協議会、令和5年度第2回只見町地域自立支援ネットワーク会議
3月	令和5年度南会津町地域自立支援協議会
内部研修	研修会などの参加後に伝達講習を行い、情報提供や内容の共有を行った。
自己啓発	自主的な研修会等への参加

## 7. ボランティア活動

環境美化活動に併せ、地域での奉仕活動として事業所周辺のゴミ拾いを実施。（6月、9月、12月）

## 8. 環境美化事業計画

活動時期	活動内容
6月、9月、12月	事務所内・外の清掃（ボランティア活動の奉仕活動と連動）

## 9. 保健衛生

感染症予防対策・安全衛生	新型コロナウイルス感染予防に努めマスクの着用や手指消毒、事業所内の空気清浄などを行うとともに、訪問時の対策や感染拡大時の対応調整を図った。その他インフルエンザ予防接種などを実施した
--------------	--

## 10. 防災

災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策として防災マニュアルを確認した。消防署の立ち入り検査。
---

## 11. 事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	毎朝の業務報告内で必要に応じて状況の確認や検討を図り、対応への配慮を行った。
緊急時等における対応方法	訪問時の緊急対応マニュアルについて確認した。
夜間相談支援体制	専用携帯電話2台にて夜間相談支援に対応した。
車両の運転	安全運転に心掛け、車両整備を定期的実施した。

# 令和5年度 こまどり荘

## 1. 事業所概要

### (1) 場 所

共同生活援助 こまどり荘	福島県南会津郡只見町大字長浜字久保田 1 7
--------------	------------------------

### (2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 7名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

## 2. 職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
こまどり荘	管理者兼サービス管理責任者	1	1				
	生活支援員兼世話人	1				1	7時間勤務
	世 話 人	1			1		7時間勤務
	生活支援員兼看護師					1	4時間勤務
合 計		4	1		1	2	

(令和6年3月末現在)

## 3. 利用者の状況（令和6年3月末現在）

### (1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
こまどり荘	5名	2名	7名

### (2) 障害状況

#### ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他	
こまどり荘	2名	4名	2名	0名	重複障害1名

#### イ 障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
こまどり荘	1名	0名	2名	1名	0名	0名	3名

#### ウ 年齢

利用者年齢	50代	60代	70代	80代	計
こまどり荘	2名	2名	2名	1名	7名

### (3) 年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
こまどり荘	366日	7名	1,985名	77.5%
こまどり荘体験入所	366日	名	1名	%

### (4) 入・退居について

性別	入・退居	年月日	状況として
女性	退	R5.5.5	入所施設へ移行
男性	入	R5.10.30	在宅より入居
男性	入	R5.11.1	他GHより転居

#### 4. 提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握し、利用者及び家族意向に沿った支援の提供を行った。
食事の提供	配食サービス（クックデリ）を利用し、利用者の状態や疾病、ニーズに合った食事を提供するとともに衛生管理の徹底を図った。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の介護を実施した。
夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者、関係職員、警備会社委託）、安全な生活が送れるよう配慮した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を行った。
健康管理	利用者の健康維持のため、障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防に努めた。併せて、病院受診が必要な方への受診対応を随時実施した。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した。
職員の資質向上 (研修の強化)	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等で、サービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。定期的にスタッフ会議を実施した。
地域交流	地域での行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎および付き添い等の支援の提供を行った。

#### 5. 主な行事

6月	ドライブ旅行（じねんと行事参加）	9月	買い物訓練・外食
7月	にこにこあいの集い参加 田島祇園祭見学	10月	南陽会秋まつり参加
		12月	クリスマス会（じねんと行事参加）
8月	お盆の外食	各利用者の誕生日に合わせ誕生会を実施した。	

※個人の買い物については受診時に実施するなど対応した。

#### 6. 研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

#### 7. ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事やイベントに積極的に参加して、地域住民との交流を図ると共に、障がい者への理解を深めてもらうよう努めた。
『ボランティア活動奉仕活動』	周辺環境美化（ゴミ拾い）に努めた。



## 8. 環境美化事業

活動時期	活動内容
1 2月	冬囲い設置
3月	冬囲い外し
その他	周辺清掃、ホーム内清掃・トイレ掃除は、職員及び利用者（当番制）で実施

## 9. 保健衛生

(1) 利用者の健康維持を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し、利用者が健康で過ごせるように支援した。</li> <li>○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて速やかな対応に努めた。</li> <li>○利用者の健康診断（血液検査、胸部レントゲン検査等）・受診結果を確認し、利用者本人へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受けた。</li> </ul>
(2) 感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、ホーム内での発生予防に努めた。</li> <li>○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた。</li> </ul>
(3) 安全衛生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。</li> </ul>
(4) 職員の医療的ケアの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する知識・技術の向上を目指した。</li> </ul>

## 10. 給食管理

【基本方針】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。</li> <li>○利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。</li> <li>○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。</li> </ul>
【内容】 ※給食については、令和3年9月より配食サービス（クックデリ）を利用している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>①楽しみのある食事を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。</li> <li>・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。</li> </ul> </li> <li>②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、ソフト食等の提供に努めた。</li> </ul> </li> <li>③食の安全に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。</li> </ul> </li> </ul>

## 11. 防災

【基本方針】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。</li> </ul>
【内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線を設置し、町内の災害情報等を常に把握できるようにした。</li> <li>・防災マニュアル及び防火設備の点検・整備、利用者への防災知識の説明を実施した。</li> </ul>

## 【年間防災活動】

月	月別訓練内容	計 画
4月 10月	防災マニュアルの点検・整備 防火設備の確認 利用者への説明	職員及び消防署による防災マニュアルの確認・点検、防火設備の点検 非常口の確認、非常ベルの確認
7月 1月	避難訓練	体制整備、避難場所・避難経路の確認、 防火用具の確認

### 12. 事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行う等の必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に、利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう、連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	事業所への出退勤時や受診時の送迎時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。

### 13. 虐待防止

実施項目	活動内容
虐待防止に関する研修会の実施	外部講師による研修会に参加し、虐待防止に関する知識を深めると共に、内部にその内容を伝達し虐待への知識や対応などへの共通理解が持てるよう働きかけた。
定期的な確認と対応についての検討	それぞれの関わりの中で感じたことを確認し合い、虐待防止への理解や対応について認識を深めた。